

The background image shows two young women in school uniforms. They are both looking at a smartphone held by the woman on the right. The woman on the left is holding a pen. The overall scene is dimly lit, with a soft, muted color palette.

# 相槌・フィラーについて の研究計画

6年 A組 1番 上野 桃佳

## 論文の「問い」と「結論」

- 問い：女子中高生が使う言葉に相槌やフィルターの役割をする言葉はあるのか
- 現時点での結論：相槌→YES ある      フィルター→NO ない



# テーマについて

## 問題意識・基礎知識

---

◎なぜ、この問いを設定したのか

- ・大学で主に女子中高生が使うような若者語を学びたいと考え、進路につなげられるようなテーマにしようと思ったから。
- ・若者語はたくさんあるけれど相槌やフィラーにもその特徴が表れているのか気になったから。

◎この発表を聞くにあたって、知っておいてほしいこと

- ・フィラーとは  
無くても会話は成立するけれど  
コミュニケーションを円滑に進めるために必要なもの  
あの一、えっと、なんか、んー など



# 結論を主張するための根拠 ①

---

- 相槌が**YES**の根拠

私自身と周りの友達が実際に頻繁に使う言葉の「それな」「あーね」が相槌の働きをしている。

相槌とは

話の進行を助けるために、話の途中で聞き手が入れるもの。

## 結論を主張する ための根拠②

- フィラーがNOの根拠

フィラーは主に言葉に詰まったときに使われることが多い。女子高生間のコミュニケーションは会話が弾み、言いたいことがすぐ出てくるため特有のフィラーが生まれにくい。





根拠①が成立するため  
に必要なデータ

- ・実験・観察をして調査する。
- ・クラスメイト同士の会話を対象に相槌の種類、使う回数を記録する。今回は聞き手が話の途中にいれた短い言葉を相槌として記録する。

# 根拠①が成立するために必要なデータ

- アンケート・インタビュー
- それな、あーね、ゆうてなどの言葉を使うかどうか、使う頻度、自分が使わなくても、使われているところを聞いたことがある、などの項目でクラスメートを対象にアンケートする。





## 根拠②が成立するために必要なデータ

- 実験・観察
- 相槌の観察と同様に種類、使用回数を記録する。

今回は話し手が話の途中に入れたつなぎの言葉、意味を持たない言葉をフィルターとして記録する。



# 研究の押しポイント

- ・ 若者語の中でも相槌やフィラーとかに焦点を当てて研究すること
- ・ 調査対象が自分の身の回りの人だから調べやすい



## 》》》》今後の研究計画

観察を根拠①と②同時に行う

記録をもとにアンケート内容を決めて聞いてまわる

まとめ

相槌、フィラーや若者語に関する先行研究、論文を随時読み進めていく

